

「咲きおり」で織る シルクモヘアのケープ



よこ糸の織り密度 4.5段/cm  
 たて糸の幅・本数 60cm 238本  
 たて糸の長さ 180cm  
 織り上がりサイズ 58cm×117cm  
 たて糸の配置  
 略号/G--209、S--211、P--203、ピ--ニュー 3PLY、赤--合細赤、黄--合細黄)

G・S・P・G・ピ・(S・P・G・ピ) ×55・S・P・赤・P・赤・P・P・P・黄・P・黄・P・P

※S・P・G・ピを55回くり返す

デザイン/曾田よう子

<用具>

手織り機「咲きおり」 60cm  
 シャトル4本  
 (うち2本は57-957シャトル<特大>)  
 待針

<材料>

パピー シルクモヘアラメ 203 3玉  
 209 1玉  
 211 1玉  
 パピー ニュー3PLY 307 1玉  
 合細毛糸 赤・黄・緑 各少々

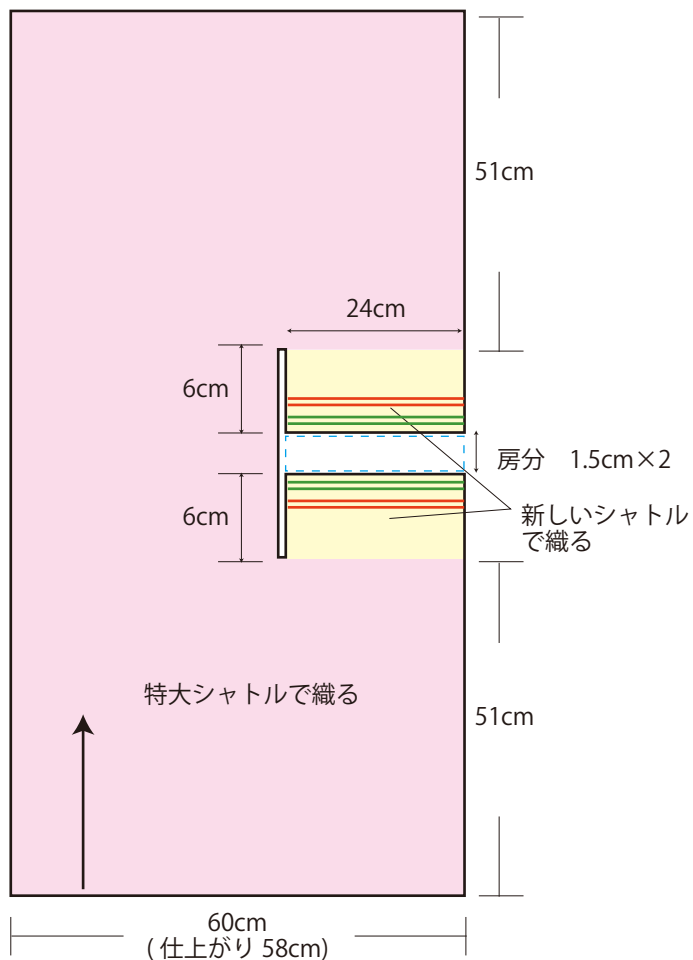
(あれば)アイロンテープ 適宜

<作り方>

- ①たて糸の配置に従い糸を張り、捨て織りを別糸(分量外)で3段織ります。
  - ②特大シャトル1本にシルクモヘアラメ 203、もう1本の特大シャトルにニュー 3PLYの307を巻きます。
  - ③今回の織地はシルクモヘアラメ 203とニュー 3PLYを1段ごと交互によこ糸として織ります。
- まずシルクモヘアラメ 203を織り開口を変えます。  
 --シルクモヘアラメ 203と同じ方向からニュー 3PLYのシャトルを入れ、2段目を織ります。  
 --開口を変えてシルクモヘアラメ 203を織ります。  
 --この時シルクモヘアラメ 203とニュー 3PLYが  
 端で絡むようにします。  
 2つのシャトルで追いかけるように織ります。  
 --繰り返して51cm織ります。



端は、二本の糸を絡めて織ります。



④図を参照して襟のあき部分を織ります。

- 別のシャトル2本にシルクモヘアラメ 203 とニュー 3PLY を巻きます。
- 切り込みの入るところに待針を刺し、印にします。(右端から 24cm 測る)



- 左側は引き続き特大シャトルで織ります。右側は新しいシャトルで織ります。それぞれ印のところで引き返すように次の段を織っていきます。



左側は続けて織ります。



右側は新しい糸をつけて織ります。

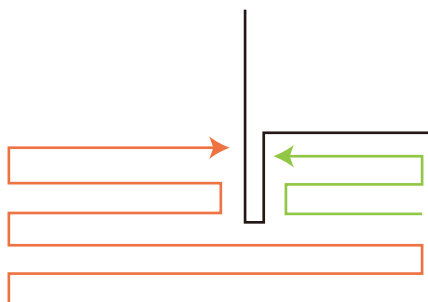


あきが出来ます。

- ⑤襟部分を 4 cm 織ったら、赤の糸と緑の糸で縞を織ります。縞を入れたい段の地糸に重ねて入れます。その段は糸が 2 本になります。襟は片側で 6 cm になるように織ります。



- ⑥図の青い点線部分は房になります。よこ糸を入れずに 3 cm 休みます。よこ糸の代わりにボール紙などを入れておくとよいでしょう。(織り上がってから切り離します。)



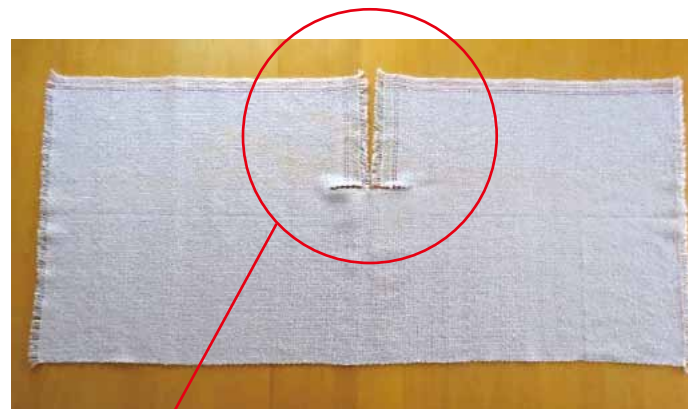
ボール紙

⑦反対側の襟部分を対称になるように6cm織ります。  
襟の秋部分はこれで終了です。右側の糸を切って仕未します。

⑧特大シャトル2本で端から端まで通常の織り方に戻って織ります。  
襟部分から51cm織ったら、捨て織り3段織って機から外します。

⑨織り始め、織り終わり、襟の房の部分はほつれないようにかがります。  
どのようなかがり方でも良いです。

⑩襟の房の部分を真ん中で切り離します。  
織り始めと織り終わりも1.5cmの房にして切り揃えます。



襟の部分はアイロンテープなどで補強すると型くずれしません。



軽く羽織れるケープです。  
お好みで、打合せ部分をブローチで止めて。